

評価問題例

1 (1) 【例】 にならってそれぞれの英文の中で本(book)のことを説明する部分を□で囲み、日本語にきなさい。

【例】 Emi: I want a book to read.

読む 本

Yumi: Oh! Look at **the book** on the desk.

   

It is **a book** I bought yesterday.

   

Emi: What kind of book is it?

Yumi: It is **a book** about environmental pollution.

   

It is **a book** that changed our view of nature.

   

(2) (1)の 説明する部分 と 名詞 の関係について気付いたことを次の語句をすべて使ってまとめなさい。

使う語句：日本語、英語、名詞、説明（修飾）する部分、順番、後ろ、前

【解答例】

日本語は説明する部分が前にきて名詞が後ろにくる。英語は順番が日本語と逆で、名詞が前にきて続いてその名詞を説明する部分が後ろにくる。

(3) (1)の会話の内容を一文の英語で要約しましょう。

【解答例】

私が昨日買った本は、環境汚染について書かれています。

The book I bought yesterday is written about environmental pollution.

2 「仲間とつづる自分史」の取組を踏まえて、自分史を書きましょう。下に提示した表現ができるだけたくさん使えるように考えて書きましょう。

- ・ 「～からずっと～している。」 「～したことがある。」（現在完了形）
- ・ It ~ for ... to ~.
- ・ 「～より～だ。」 「～の中で一番～だ。」（比較級、最上級）

評価問題のポイント

評価問題 1：後置修飾の関係を、記号を用いることで視覚的に把握させる。また日本語と対比させることで英語との語順の違いに気付かせる。この課題はレポートにして提出させてもよい。その場合(2)の設問は、参考資料を提示し、しっかりまとめさせるとよい。

評価問題 2：「仲間とつづる自分史」の取組を踏まえて、自分史を書かせる設問とし、まとまった英文で自分のことを表現させる。